

ささやま

編集責任者

橋上中学校

学校教育目標

意欲的に活動し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

- ・人とともに 地域とともに
- ・伸びる橋中 伸ばす橋中
- ・やりぬく生徒 やりぬく教師

スタートのがんばりを継続しよう!

新年度も約1ヶ月が過ぎ、新入生も中学校に慣れてくれたことと思います。この2ヶ月の学校生活の様子を見てみると、各学年とも新しい気持ちでスタートしてくれた生徒が多く、いろいろな場面ががんばっている様子が実感できました。朝の校門での元気なあいさつにもとてもさわやかな気持ちになり、1日が気持ちよくスタートできます。

ゴールデンウィークが終わり、疲れが出始める時期でもありますが、また気持ちをリフレッシュして、新年度スタートのがんばりや気持ちのよい雰囲気を持続し、さらに盛り上げていくてくれることを期待しています。

ただ、克服しなければならぬ課題もあります。小さな学校でお互いが、わか

りあえる仲の良い環境であるので、どうしても切磋琢磨しながら、成長していく関係に弱さがある時があります。自ら目標を立ててがんばり抜いてほしいと思います。

学校でも、多くの人のかかわりを大切にして取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

市球技大会頑張りました

市の球技大会のソフトテニスの部が終了しました。当日は真夏のような天候になり、選手は汗だくになって一生懸命にプレーを見せてくれました。

また、多くの応援、本当にありがとうございました。

選手たちは、決して結果には満足してはいない様子でしたが、団体戦では宿毛

中学校からセットを奪うことができませんでした。なかでも、篠原・寺田ペアはベスト8にまで勝ち上がりました。昨年度は、この球技大会に出場できなかったことを考えると、大きな成果を橋上中学校にもたらしてくれたと思います。



試合に臨む選手たち



平田コートで準備運動をする選手たち

学校支援地域本部事業

この事業のねらいは、地域住民の方々が学校教育活動に参加していただき、学校、家庭、地域が三位一体となって、子育ての充実を図ることにあります。

このことを実施するにあたり、次の4点の効果を期待しています。

- ① 学校の様々な活動を支援していただく事で、今まで以上の教育活動の充実や、教員がより子どもと向き合う時間が確保できます。
- ② 子ども自身が地域の大人とふれあい、多様な経験をする機会を増やすことで、子どもの「生きる力」を育てていけます。
- ③ 地域住民が自らの経験や今まで培った力を子どもたちに伝えることにより、「生涯学習社会」の実現にもつながります。



たくさんの応援ありがとうございました

④ このような活動を通じて、地域の絆が強まり、活性化が図れます。

橋上中学校では、この事業が始まったばかりですが、今から少しずつ充実させていきたいと思っています。



ソフトテニス部の指導 竹村さん



体育 幅跳びの指導 竹村さん

右の写真は、放課後の部活動及び体育の授業の支援員として、竹村さんがアドバイザーとして関わっているところです。



理科の授業のサポートを行う 野々下さん

放課後学習支援事業

放課後の学習のサポートも昨年度に引き続き、清家先生にお願いしています。

今年度は、「学校支援地域本部事業」と「放課後学習支援事業」の2本立てになっています。



5月25日 放課後の学習の様子



頑張っている 2年生

進路説明会

今年も、各高校を橋上中学校にお招きして、進路説明会を行います。将来の自分の夢を実現するために、しっかりと考えた考えをもって、高校選択をしてほしいと思います。

進路説明会の予定

6月15日(水)

13:30~13:30

中村高等学校

13:40~14:10

宿毛工業高等学校

6月16日(木)

13:35~14:05

幡多農業高等学校

14:15~14:45

宿毛高等学校

ノースクリンデー

橋上中学校では、パソコンやスマホ、TVやゲームといった「スクリーン」からは、離れてみる・・・そんな日が欲しいと思い、毎月10日を「ノースクリンデー」とし、早速6月から取り組んでみることにしました。この日は読書や家族との会話を楽しんでほしいと思います。「iPhone」等を開発したスティブン・ジョブズも子どもにとってテレビゲームやコンピュータは家庭にない方がよいという考えから、家には一切置かなかったことは有名な話です。